

しげのふ 特別支援学校 だより

発行所
東温市田窪2135
愛媛県立
しげのふ特別支援学校
印刷所
株式会社 松栄印刷所

ひとをよろこばせること



校長 宮崎 修次

「東に 石鎚山は はるかそばだち わが父のごと はだえにきびし」これは校歌三番の出だし部分です。私は毎朝、校長室の窓越しに遙かそびえる山並みを眺めながら、この歌詞を重ね合わせて新しい一日を迎えることに喜びを感じます。

さて、今日巣立つてゆく高等部三年生の皆さんは、しげのふ特別支援学校での学校生活をどのように振り返っているでしょうか。運動会に文化祭、修学旅行や校外学習など、様々な思い出が巡ってくるのではないのでしょうか。クラスの仲間や先生たち、そして常に見守ってくれた家族に対して深い思いがあることと思います。これから学校を離れ、社会で生活する卒業生の皆さんにはそれぞれの得意なことを生かして活躍してくれることを心から願っています。そこで、皆さんにはアンパンマンの作者であるやなせたかしさんの『明日をひらく言葉』という書籍に書かれた内容の一部をご紹介します。

「人は、人がよるこんで笑う声を聞くのが一番うれしい。だから、人がよるこび、笑い声を立ててくれる漫画を長く描いてきた。自分が描いた漫画を読んで子どもたちがよろこんでくれる。その様子を見て、自分がうれし



くなる。こうしてよろこばせることができることが本当に幸せだ。あなたは何を、よろこばせようとしているのか？」

あなたは、やなせたかしさんの問いに対して、どのように答えますか？話し掛けてきた人に笑顔で答えること。作ってくれた御飯をおいしそうに食べる。悲しみを抱えている人を「大丈夫だよ」と励ますこと。人がうれしくなる場面は様々ですから、「よろこび」という感情を生み出す行動を特定するのは難しいと思います。でも、まず皆さんの誕生そのものが多くの人を喜ばせ、それ以来十八年間、ずっと周りの人たちに喜びや笑顔を与え続けていることに自信を持ってください。人生は百年時代に入ったと言われています。皆さんは、その長い人生のほんの少しを過ぎただけなのです。この先、皆さんが歩んでいく人生には、たくさんのドラマが待っています。これからずっと「人を喜ばせる」存在であり続けてほしいと願っています。御卒業おめでとうございます。

部 通 信

しゅつ、しゅつ、修学旅行！ 幼・小学部

ノリノリの「修学旅行の歌」で幕を開けた小学部の修学旅行。六年生十三名は、十月十六・十七日修学旅行に行きました。今年から訪問教育の友達も一緒に。一日目、みんなでタオル美術館や道後散策へ。二日目、南予班はおさかな館、松山班はジョーブラ、いきものふれあい学校に行きました。宿泊は、道後友輪荘でした。歌の歌詞のとおり、いろいろな物を「見て見てシーカシャー」、そして、「お土産ショッピング」してききました。



修学旅行

中学部

中学部三年生は、香川班が十月九日・十日の二泊二日で香川県へ、松山班が十月十六日に今治方面、十七日に松山市内へ出掛けました。



香川班での最初の目的地ベッセルおうちでは、青い海と青い空を眺めながらおいしい食事をいただきました。続いて訪れた讃州井筒屋敷では和盆づくりに挑戦しました。型を使って自分で作り上げる体験に、みんな真剣な表情を見せていました。ホテルでの宿泊は、友達と過ごす時間がかけがえのない思い出になりました。二日目に訪れた四国水族館では、イルカショーに歓声を上げ、色とりどりの魚に目を輝かせながら観察しました。お土産選びも楽しみ、じっくりと品物を選ぶみんなの姿が印象的でした。最後まで笑顔一杯の旅となりました。



卒業によせて

高等部

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。世の中が日々大きく変化の中で、皆さんは一歩ずつ、自分のペースで、確かな足跡を残してきました。特にこの一年間は、最高学年として行事を引っ張り、社会に出るための準備を日々重ねてきました。できることが増えたばかり、思うようにいかない日も、皆さんは自分らしい方法で挑み続けてきました。その姿に、勇氣と頼もしさを感じています。



これからの人生でも、どうか「自分らしさ」を大切にしてください。誰かと比べることよりも、自分の感じる喜びや興味、心が動く瞬間を信じて進んでほしいと思います。そして、人とのつながり、皆さんの力を広げてくれる大切な宝物です。家族、友達、先生、支えてくれる人たちが

それぞれの修学旅行

訪問教育

訪問教育の小学部六年生、中学部三年生、高等部三年生の五名が、それぞれの学年で本校の友達と一緒に修学旅行へ行きました。

小学部は、いきものふれあい学校と道後温泉ふなやへ行きました。いきものふれあい学校では、トカゲやモルモット、鳥や魚などいろいろな生き物と触れ合いました。自分の体の上に動物が乗るとドキドキしたり、ほっこりしたりとした空間で昼食を食べました。お母さんの桃のシャベットを少し口に入れてもらおうと、その冷たさのかおいしさのか目をまん丸にしていました。

中学部は、タオル美術館と道後温泉に行きました。タオル美術館では、色とりどりのタオルやかわいいうきやうタオルに癒されました。道後温泉では、道後散策へ出かけました。夕食では、お吸い物や茶わん蒸し、メロンを少し味見するととてもおいしくて目をキラキラとさせていました。道後散策では、ドキドキしながら足湯に入ったり、ストリートピアノで大合唱したり、道後温泉本館を見たりして、道後の街を楽しみました。

高等部は、海遊館とユニバーサルスタジオジャパニに行きました。海遊館では、大きなジンベイザメに釘付けになったり、チンアナゴを見て楽しんだりして、ワクワクが止まらないうちでした。それぞれの部で、同じ学年の友だちと一緒に過ごした修学旅行は、「楽しいこと」「うれしいこと」「頑張ったこと」を見付けられたハッピーな時間でした。これからいろいろなことに挑戦しながら好きなことを見付けていきましよう！

